

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | | | |
|--------------|--|------------|--------|
| ① 研究課題名 | 大動脈弁狭窄症患者のTAVI前スクリーニング入院中の看護支援についての振り返り | | |
| ② 実施予定期間 | 2017年1月30日から2018年3月31日 | | |
| ③ 対象患者 | ④の研究対象とする期間に第二内科（第一病棟九階東）に経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）前スクリーニング目的で入院した患者さん | | |
| ④ 対象期間 | 2015年4月1日から2016年5月31日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 山口大学医学部附属病院 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 第二内科 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 末永 めぐみ | 所属 看護部 |
| ⑧ 使用する情報等 | 性別、年齢、病名、身長、体重、入院期間、当病棟入院期間、当病棟退院翌日から当院第一外科入院日までの日数、医師の診療記録、看護記録、転倒転落チェックリスト値、退院支援計画書の内容、カツインデックス（日常生活動作（ADL）ツール）の内容、虚弱スケール値（身体機能を評価するスケール）、検査結果（採血結果、レントゲン、心電図、心エコー）、バイタルサイン（血圧、脈拍、静脈血酸素飽和度）の情報を電子カルテから収集します。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | TAVI前スクリーニング入院の患者さんは高齢者が多く、入院中の活動量の低下に伴うADLの低下が考えられています。また手術を予定され、一旦自宅退院となった時にADLの低下や症状の悪化など様々な不安を患者さんやご家族が抱いているのではないかと考えています。医療記録より、患者さんに対して行われた看護支援を振り返り、今後の看護支援の充実が図れるように看護支援の内容を検討します。 | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2017年1月30日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会や論文等で公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 山口大学に帰属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 看護部看護研究費を用いて実施します。 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません。 | | |

| | | | |
|-------------------|-----------------------------------|--------------|------------------|
| ⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口 | 山口大学医学部附属病院 看護部第一病棟9階東 担当者：末永 めぐみ | | |
| | 電話 | 0836-22-2568 | FAX 0836-22-2750 |